



住まう、育む、楽しむ。  
MY HOME TOWN FUKAYA

私たちが深谷を

好きな理由。





# Let's start life in Fukaya!

はじめよう。  
深谷ライフを

東京駅や新宿駅からJR高崎線でダイレクトアクセスがかなう、埼玉県・北部のまち「深谷市」。関東の駅百選に選ばれた赤煉瓦づくりの駅舎がシンボルの深谷市は、近代日本経済の父・渋沢栄一を輩出したまちでもあります。そんな深谷市は歴史と豊かな自然を有しながら、子育てファミリーが快適に暮らすための施設や手厚い行政サポートも魅力です。

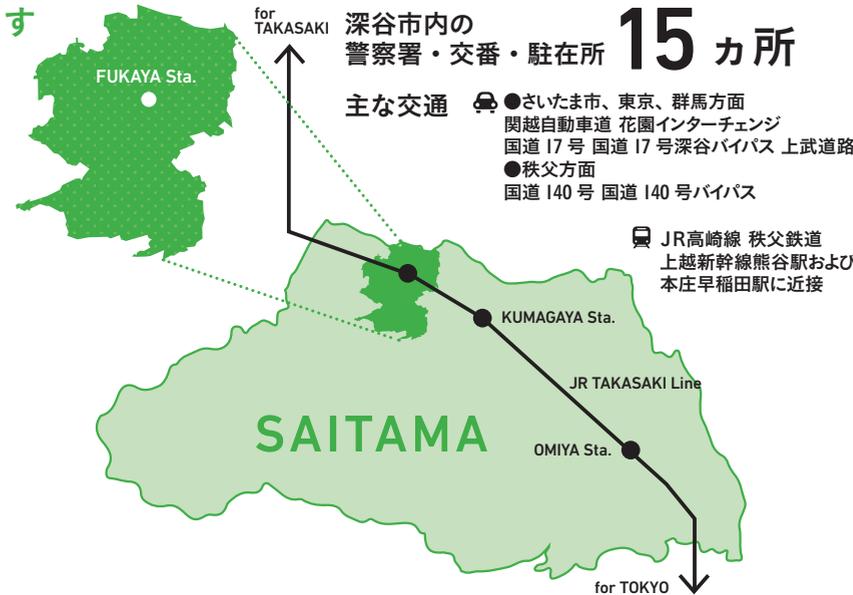
このまちで暮らす価値を、実際に住んでいるご家族の声からひも解いてみましょう。

# About Fukaya

▶ 深谷市のこと

人口14万人超が暮らす「関東の台所」

現在の深谷市は2006年に近隣1市3町が合併して誕生しました。東京から70km圏内という利便性から古くから商工が栄え、あの東京駅の煉瓦も深谷で製造されました。また利根川・荒川の2大河川の恩恵を受けた豊かな大地では、「深谷ねぎ」をはじめとした全国でも有数の野菜や花々を生産しています。



Signs of Update

ニューノーマルな時代の最適解とは

新しい生活様式に  
ぴったりのまち 深谷

昨今の働き方改革やテレワークの推進により、わざわざ職場の近くに住まいを設ける必要が少なくなりました。そんな今だからこそ、郊外に家を持つことで経済的に豊かな暮らしをかなえ、家族との時間を増やしたり、自分の趣味にいそしんだりするかたが増えています。

また深谷市では新築の戸建てが東京23区と比較しても半額

程度で購入できるほか、18歳まで医療費が実質無料（保険適用のものに限る）など子育てサポートも豊富です。さらに学校給食でも地産地消を取り入れるなど、食育にも力をいれており健康的な生活がかないます。まさに新しい生活様式を実践するには、深谷市は最適な選択肢だといえるでしょう。



1. 大型スーパーなど生活便利施設が身近にそろう
2. 地元産の新鮮野菜が身近なところで購入できる
3. 地産地消を取り入れおいしいと評判の学校給食
4. イベントも開かれるなど市民に開かれた新市庁舎

# Fukaya City Data



▶データから見る深谷市のこと

## 定住意向が90%超 人気の深谷市

深谷市が実施した深谷市民まちづくりアンケート調査によると、市民の深谷市への定住意向は10年連続90%超という好水準をキープしています。なぜ深谷市に暮らすことが、ここまで市民を惹きつけているのでしょうか。深谷市にずっと住み続けたいと思う理由とは――。

ここでは住宅・子育て・暮らしなどのデータを比較しながら、深谷市に暮らすメリットをみてみましょう。



深谷市のシンボルJR深谷駅

## 市民の定住意向

10年連続  
90%をキープ!

# 93.0%

令和2年 深谷市民まちづくりアンケート

## 住宅の価格相場

深谷市

2,551万円

都内

4,708万円

深谷市で新築の戸建てを購入する場合、およそ2,500万円で購入できます。これは都内の新築戸建価格相場の4,708万円と比較して、およそ半額です。深谷市に移住した場合、このように安価で新築の戸建てが手に入ります。

※出所：不動産情報サイトアットホーム(2021年1月時点)



## 1ヶ月の平均家賃

深谷市

48,548円

23区内

88,491円

深谷市の1ヶ月の平均家賃は4万円台後半、23区内の1ヶ月の平均家賃は8万円台後半と、平均家賃からみても深谷市は、23区と比較して安く家を借りられることが分かります。

※平成30年 住宅・土地統計調査

## 持ち家比率

深谷市

76.0%

23区内

41.6%

深谷市民の持ち家比率は76.0%であり、約8割の市民が持ち家を保有しています。これは隣接する4市※1のなかで最も高く、23区内の平均(41.6%)と比べても、深谷市に定住する住民の多さが伺えます。

※1. 熊谷市、本庄市、伊勢崎市、太田市  
※平成30年 住宅・土地統計調査

## 家の広さ

深谷市

107.77m<sup>2</sup>

23区内

61.61m<sup>2</sup>

深谷市民が暮らす家の専有面積は平均107.77m<sup>2</sup>であり、県内でもトップクラスの広さを誇ります。23区内の平均が61.61m<sup>2</sup>であることから、深谷市ではより広い家が手に入りやすいといえそうです。

※平成30年 住宅・土地統計調査

## 幼稚園・保育園 など

# 56園



深谷市には公立が4園、私立が32園、認定こども園が2園、あわせて全38園の保育園があります。また小規模保育室は9園あります。さらに、市内には公立の幼稚園が8園、私立が1園あり、子育ての安心感と選択肢が広がっています。

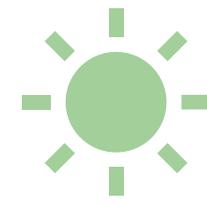
※2021年4月時点

※令和3年度より公立の幼稚園では、保育サービスを向上していきます。  
●3歳児受入 ●平日預かり時間の延長  
●長期休業中の預かり保育 ●毎日給食の提供

## 日照時間

# 快晴日数 全国1位

10年で  
快晴日が  
567日



気象庁によると、埼玉県北部(観測地：熊谷市)の快晴日数は過去10年で合計567日となり、全国ナンバーワンに輝いています。この良好な日照を活かして、自宅に太陽光発電設備を備え、売電と環境負荷の低減に取り組む市民も多くいます。

※2009年~2018年までの快晴日数の合計。気象庁調べ



## 公立幼稚園・小学校・中学校の耐震化率、エアコン設置率

# 100%

深谷市では県内他市に先駆けて市内すべての公立幼稚園、小・中学校の耐震化工事が完了しています。また普通教室のエアコン設置率も100%を達成し、児童生徒のための快適な学習環境が整っています。

## 学童保育室

# 32室

深谷市では、公立、私立あわせて全32の学童保育室があり、すべての小学校の敷地内(隣接含む)に学童保育室が設置されています。まち全体で放課後の児童の安全と保護者の安心を確保しています。

※2021年4月時点

## 平均通勤時間



深谷市

25分

埼玉県

44分

深谷市民の勤務先への通勤時間は平均25分でした。これは埼玉県内の平均の44分と比較すると通勤にかかる時間が少なく、その分、ワークライフバランスのとれた生活が送れそうです。

※平成28年 社会生活基本調査

## 子育て支援センター

# 17カ所

深谷市では市内に17カ所の「子育て支援センター」を設け、経験豊かな保育士などを配置しています。気軽に育児の相談をしたり、施設が開催する子育てイベントに参加したりすることで、パパ・ママ友も容易に作れます。

※2021年4月時点

## ねぎの作付け面積



# 全国1位

※平成27年農林水産省野菜生産出荷統計

埼玉県内における  
農業産出額

# 県内1位

※平成30年市町村別農業産出額

深谷ねぎをはじめ、全国有数の野菜の生産地である深谷市では、農産物直売所を備えた3つの「道の駅」や市内の農産物直売所で、深谷産の採れたての野菜を安価で手に入れられます。

## ごみの収集

# 週5日

燃やせるごみは週4日収集

深谷市ではごみの収集を週5日行っています。特に家庭から出る量が多い「燃やせるごみ」は祝日を含めて週4回収集しています。隣接する4市※1が週2回に対して、圧倒的に上回っています。

※1. 熊谷市、本庄市、伊勢崎市、太田市



# Residents' Voices

私たちが深谷を好きな理由。

都心では味わえない体験

interview 01



笑顔の子どもたち  
ふかやに  
FUKAYA  
深谷市

## Aさんファミリー

深谷市内で働くAさん夫婦。現在、夫の実家の隣地に建てた戸建を増築中!育ち盛りの3人の子どもを育てるアクティブな5人家族。

自然いっぱいの公園で、ハッタやチョウチョを追いかけてこ(仙元山公園にて)

休日は公園めぐり。  
都心では得られない環境で、  
のびのびと子育てできます。

深谷生まれ・深谷育ちのAさん(夫)は、このまちの魅力について「深谷市はとても住みやすいですね。交通の便も良くて、大きな災害にあうこともないです。ずっと深谷市に住んでいますが、何不自由なく暮らせています。」休みの日は子どもたちと公園めぐりを楽しんでいるというAさん一家。

「仙元山公園の『わんぱくランド』には、100円で乗れるバッテリーカーや変わり種自転車、エアートランポリンがあって、子どもたちは大好きです。連れていくと、永遠に遊んでいますね(笑)。」ほかにも、夏は近所の公園で虫捕り、秋は公園にたまったフカフカの落ち葉にジャンプ!など、季節も満喫しているそうです。

「身近に小さい公園から大型の公園までたくさんあって、選びきれないぐらい。特におすすめの公園は『農林公園』です。大きな芝生広場があって、ピクニックや収穫体験もできるんです。」というのはAさんの妻。「あと、深谷市はお祭りが多いですね。知っているだけでも産業祭、七夕まつり、ふかや花フェスタ、瀧宮神社の桜まつり……など。市の広報で情報を入手して、お祭りはほぼ全て参加していますね。」



ふっかちゃんの自転車に乗って、いざ勝負!(わんぱくランドにて)

深谷三大まつりの「桜まつり」「七夕まつり」「深谷まつり」を中心に、年間を通してたくさんのお祭りを開催(写真は深谷まつり)



「2020年は、ほとんどのお祭りが中止になってしまいましたが、その分、公園が多いので問題ないかな。」というAさん(夫)。Aさんの妻も「ここはすぐ近くに山も見えますし、道も広くて都心のようにゴミゴミしていません。ゆったりのにびりと暮らすにはおすすめですよ。」と続けます。

医療費が実質無料や学童設置。

深谷市の

子育てサポートは万全です。

3人の子どもを育てるAさん(妻)に、子育て環境を伺ったところ、「何より医療費が18歳まで無料なのは大助かりです。今、長男が小学校1年生ですが、深谷市では全小学校の敷地内(隣接含む)に学童が併設されているんです。私たちは共働きなので、学童が学校の敷地内にあるというのは非常に安心できるポイントです。それから深谷市の小学校には給食室がちゃんと備わっているので、子どもたちは給食が美味しい!って喜んでいます。」

深谷市の教育委員会も対応が丁寧とAさんの妻は太鼓判を押します。「小学校の先生も親切で丁寧。コロナ禍になって、学校の授業を動画で配信してくれたり、緊急のお知らせなどもママにメールをいただいたりもしています。」さらに下の子が通っている保育園についても「深谷市は、とにかく保育園の数が多いんです。あと特徴的なことといえば、周辺の畑でジャガイモやサツマイモ掘りなどをやっている園もあります。なかなか都会では味わえない体験ができますよ。」と、語ってくれました。

Aさんファミリーのおススメスポット



埼玉県農林公園 MAP D-5  
野菜や果樹の生育過程を学びながら、  
県内の野菜や果物を収穫できる



アクアパラダイスパティオ MAP B-3  
北関東最大級の屋内アミューズメント  
プール。オールシーズン楽しめる



スマイルパーク MAP C-2  
子ども向けの遊具が大充実。多目的トイレもあるので、小さい子どもも安心



3つの道の駅 MAP P.14  
地元の特産品を豊富に取り揃える

FUKAYA  
CITY  
Lifhack!

家計にうれしい!  
『子育てサポート』

待機児童がゼロ(2020年4月現在)の深谷市では47の保育園や小規模保育室、9の幼稚園、市内に17カ所の支援センターを設けて、手厚く子育て支援を行っています。また第3子以降の保育料無料、不妊治療費の補助、18歳までの医療費の助成などのサポートのほか、すべての小学校敷地に学童保育室を設置しています。

18歳まで医療費助成  
通院も入院も原則医療費が無料。

不妊治療費の補助  
1回あたり 上限10万円の治療費を補助。

保育園などの第3子以降の保育料無料  
多子世帯の経済的負担を軽減。

全小学校に学童施設  
公立学童保育室を全小学校の敷地内(隣接を含む)に設置。

深谷で「育てる」魅力  
<https://www.fukkachan.com/kurasu/k01.html>



深谷で「学ぶ」魅力  
<https://www.fukkachan.com/kurasu/k02.html>



# Residents' Voices

私たちが深谷を好きな理由。

日常の買い物も、おでかけも

さくっと快適



ふかやに  
快適な生活？  
深谷市

interview 02



Tさんファミリー

メーカー勤務の夫と専業主婦の妻、長男、次男、長女の5人家族。2015年に夫の転勤により、神戸市から深谷市に移住。

スーパーマーケットから市役所の行政サービスセンターまでそろい「アリオ深谷」

週5日のごみ収集などが便利。  
地域のつながりも強く  
子育ても安心。

仕事の関係で関西から関東圏への移住が決定したTさん一家。「最初、職場に近い群馬県太田市、伊勢崎市、それから埼玉県熊谷市、本庄市などを検討しました。結果、住むなら埼玉県のほうが良いだろうという結論に。」とTさん（夫）。その理由について妻は、「より東京に近いほうが、子どもたちの進学や就職のときの選択肢が多かと思ったんです。あと私の実家が東北地方にあるので、大宮駅から東北新幹線に乗るというアクセスの良さも重視しました。」と話します。

埼玉への移住を決意し、条件に合う新築戸建てが深谷市に見つかったというTさん（夫）。「もちろん家が見つかったのが一番ですが、細かいところというと、ごみの収集が週5日あるというのは大きかったです。比較していたエリアでは住宅価格はそこまで大差なかったのですが、最終的には行政の取り組みで深谷市を選びました。」

深谷市に移住して、どのように知り合いを増やしていったのかをTさんの妻に伺うと、「まず深谷市の子育て支援センターはよく利用しました。園の一部を開放していて、保護者同伴だったら未就園児も積極的に受け入れてくれます。そこで子どもを遊ばせながら、ママ友をたくさん作



道の駅かわもと MAP D-4  
深谷産の新鮮野菜が豊富に並び、地元の人も多く訪れる

りました。あと地域のつながりが強いのも深谷市の特徴です。自治会が中心となって運動会やお祭りをよくやっていますし、私たちのように外からきた家族もフレンドリーに受け入れてくれました。」

買い物や習い事、行政手続きも『アリオ深谷』で完結。

新施設も開業を控え魅力満載。

さらに深谷市の買い物環境の良さをTさんの妻がおすすめてくれました。「とにかく『アリオ深谷』は食料品から日用品まで何でもそろいます。子どもはカルチャーセンターでそろばんを習っています。それから『アリオ深谷』内には深谷市の行政サービスセンターも入っているので、手続きも何かと便利。だいたい週3日は訪れていて、お隣の上柴中央公園で遊んで帰ってくるのが日課です。」

ほかにもおすすめの施設はたくさんあると続けます。「庭の手入れで園芸用品が必要になったときは、国道沿いの大きなホームセンターに行きます。必要なものがなんでもそろうから便利です。それから深谷市には直売所もたくさんあるんです。私は農産物直売所で採れたて野菜や果物を安く購入しています。道の駅も3ヵ所あるので、色々めぐっても楽しいですよ。」

いっぽうTさんの夫は深谷市の将来性に注目していると言います。「深谷市は食育にすごく力を入れています。今度、花園インターそばにアウトレットモールができるのですが、あわせてキュービーの“野菜の魅力体験できる複合型施設”深谷テラスがオープン予定です。そういうことに力を入れていくのは非常に良いことです。相乗効果もあって、ますます発展していきそうですね。」

県外から移住したTさん一家。「深谷市は田舎過ぎず都会過ぎず、どこに行くにもちょうどいいまちです。自然も近くて、子育てサポートや買い物施設も充実。まさに至れり尽くせりだと思います。」と、Tさんの妻は笑顔で語ってくれました。

Tさんファミリーのオススメスポット



キララ上柴 MAP D-3  
行政サービスセンター、図書館、多目的ホールなどが備わる複合施設



深谷グリーンパーク MAP B-3  
園内花壇・ボタジェの庭では、春はチューリップ・夏はユリ・秋はコスモスが彩る



深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム  
キュービーがプロデュースする野菜の魅力体験できる施設（2022年開業予定）



ねぎ畑の風景  
深谷といえどねぎ 市内のいたるところで見られるねぎ畑は庄巻の一言です（Tさん）

FUKAYA CITY  
Lifhack!

新しい生活様式に  
うれしい行政サービス

深谷市の「ごみの収集」は週5日、特に家庭から出る量が多い“燃やせるごみ”は週4日も収集してくれます。テレワークで在宅の機会が増えても、小まめにごみ出しのできる、常に家の中は清潔に保てます。



ごみの収集 週5日

燃やせるごみの収集は、祝日を含む月、火、水、金曜日と週4日!



新しい深谷市役所

2020年7月に開庁。市民がよく利用する窓口部門を1階に集めて、効率的な市民サービスを提供。

深谷で「生活する」魅力

<https://www.fukkachan.com/kurasu/k03.html>



『花園 IC 拠点整備プロジェクト』

2022年にアウトレットモールや野菜の複合施設がオープンする花園IC拠点整備プロジェクトについては、こちらをチェック

[http://www.city.fukaya.saitama.jp/soshiki/kyoten/kyoten/hanazono\\_project/1500356454887.html](http://www.city.fukaya.saitama.jp/soshiki/kyoten/kyoten/hanazono_project/1500356454887.html)



# Residents' Voices

私たちが深谷を好きな理由。

在宅勤務もストレスフリー

キッチン横のダイニングテーブルをテレワーク空間として活用



interview 03

インタビュー  
Kさんファミリー  
深谷市

Kさんファミリー

現在、自宅でテレワークをしている会社員の夫と自営業の妻（熊谷市出身）、長男、長女と0歳の次女の5人家族。2011年に深谷市で家を購入。

日照日数が日本一の恩恵。土地・建物も安価で手に入るのも魅力。

「この家を購入した一番の理由は、なんといっても“日当たり”です。このあたりは日照日数が日本一なので、日当たりが非常に良いんです。」と話すKさん（妻）。そんなKさん一家が暮らすお宅は、庭も含めて約100坪・4SLDKという広さ。「この家は2011年に土地と建物合わせて約2,800万円で購入しました。安いですよ（笑）。このあたりはアパートを借りるのと家を建てるのでは、そこまで月々の負担額が変わらないんです。だいたい5～6万円で賃貸を借りるぐらいで、2～3,000万円の家を建てられちゃう。だったらローンを組んで家を買っちゃった方が早いという話です。」

「あと、我が家もそうですが、みなさん屋根にソーラーパネルを付けて売電しています。それから震災に備えて蓄電池を設置しているお宅も多いです。深谷市では太陽光発電や蓄電システムの設置に対する助成金も出ますからね。」Kさん宅も売電効果で、月に数万円の利益ができることもあるのだそう。その効果は日照条件の良好なエリアならではの。

「夏はとくに売電収益が上がりますね。日当たりが良いメリットは売電だけでなく、冬もあまり暖房をつけなく



日当たりの良い自室内で、読書の時間が好きだと語る長女

でも平気な点です。風は比較的、強い地域なんですけれど、逆に風通しが良いから夏も涼しく過ごせます。」Kさんの夫も「ここは嫌な暑さじゃないですね。かえって都心のコンクリートに囲まれているほうが、暑すぎて気が減入っちゃうよね。」と笑います。

自宅で快適テレワーク。車や自転車で

リフレッシュスポットもすぐ。

コロナ禍以前は深谷市から都内の会社まで通勤していたというKさんの夫。現在はリモートワーク中心の生活にシフトして、職住融合の生活を楽しんでいるそうです。「都内の会社へ毎日通っていましたが、通勤はそんなに苦じゃなかったですね。お隣の籠原駅が始発駅でもあるので、座って通勤もできます。ちょっと疲れているときは、JR高崎線のグリーン車を利用します。さらに熊谷駅から出ている新幹線を使っても、上野駅までの特急券はたった1,000円です。会社の定期があるので、追加料金として1日往復で2,000円、月20日だとしても1ヵ月で4万円ほど。高いお金を払って都内で暮らすのと比べれば、たいした負担ではないですよ。」

リモートワークの生活に関しては、「子どもが生まれたばかりなので、会いたいときにそばにいるっていうのはうれしいものです。深谷市は自然も多いので、気分転換もすぐにできます。特に荒川の土手沿いを自転車で走ると爽快ですね。」近場だけでなく、気軽に群馬や軽井沢でリフレッシュしているというKさん一家。「秩父や長瀨方面は30分程度、花園インターが近いから軽井沢は日帰りで行ける距離です。」Kさんの妻も「これから群馬の温泉行ってみる？みたいな感覚です。実は花園インターから東京方面の高速は非常に渋滞するんです。ただ、我が家は花園インターで降りちゃうから、帰りの大渋滞を横目で見ながら、帰宅もスムーズです（笑）。」と、語ってくれました。

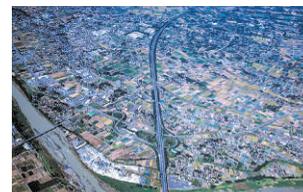


屋根にソーラーパネルが備わるKさんのご自宅

Tさんファミリーのオススメスポット



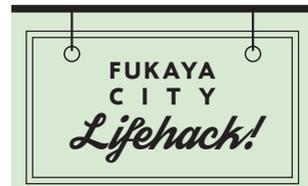
小山川 MAP C-1  
小山川沿いにはサイクリングロードが整備され、サイクリングを楽しめる



花園インターチェンジ MAP B-5  
高速道路網の整備が進み、多方面へ好アクセス



荒川 MAP C-4  
冬になると白鳥の飛来もみられる



住宅用省エネ設備を設置するファミリーを応援

深谷市では、住宅における新エネルギーおよび省エネルギーの普及を促進し、地球温暖化対策を推進することを目的として、住宅用省エネルギー設備を設置したかたに、予算の範囲内で補助金を交付しています。

詳しくは深谷市のホームページをご確認ください。  
<http://www.city.fukaya.saitama.jp/kurashi/kurashi/gomi/kankyo/seidochojo/1585706287451.html>



深谷ならどこに行くのも好アクセス

関東平野の中心に位置する深谷市からは、仕事で都心に出るのも、草津温泉や軽井沢などの観光地に行くのも約1～2時間程度でアクセス可能。週末レジャーをおもいっきり楽しみたいファミリーに◎。



# Fukaya City People's Voices

▶深谷市が好きな理由ベスト5と“深谷の魅力”をひとことで語ってもらいました。

※2020年10月深谷駅周辺および上柴中央公園にて深谷市民32組に街頭アンケート

## BEST 1 生活環境

満足度 100%

深谷市民の「生活環境」への満足度は100%という結果になりました。なかでも「ごみの収集が週5日ある」は過半数を超える56%の人が評価しました。



ココが魅力!

小学校の建物がとにかくキレイ!市内全ての小学校に学童保育室が設置されているため、大人の目が行き届いて、治安の面でも安心・安全です。



ココが魅力!

待機児童が0人なのは大きいですね。市が運営する相談窓口が充実していて、気軽に相談にのってくれます。行政サポートが手厚いのも魅力です。

## BEST 2 子育て環境

ココが魅力!

18歳まで医療費が0円なのと、助成金いろいろあるので大変助かっています。周りにも子育て世帯が多いので、ママ友ができやすいですね。



魅力の『医療費が実質0円』※

続いて、深谷市民の満足度が高かったのは「子育て」で、全体の78%に及びました。特に「18歳まで医療費0円※」は、全体の34%の人が評価しています。 ※保険適用分

## BEST 3 買い物環境

商業施設も充実!

大型の商業施設や道の駅もそろそろ「買い物環境」への評価が3位にランクイン。なかでも「新鮮野菜が地産地消できる」という深谷市ならではの評価が目立ちました。



ココが魅力!

野菜の直売所が近くにあるので新鮮な野菜が安く手に入ります。深谷市は自然や緑が多いので、ちょっとした日常のストレスからも解放されます。

## BEST 4 住居

「住宅」への評価は「買い物環境」とほぼ同率で31%でした。その理由として挙げられていたのが「理想の家が建てられた」「家賃が安い」などでした。



ココが魅力!

他と比べて、深谷市は家賃も安く住めるのではないのでしょうか。あと、ごみの収集日が週5日あるのはすごく便利です。

## BEST 5 仕事

「仕事」への満足度は全体の25%が評価しました。なかでも「職場へのアクセスが良い」という回答が多く、みなさん職住近接の暮らしを実践されているようです。

ココが魅力!

交通アクセスがいいですね。海・山・都会などのレジャースポットへ日帰りで行けます。JR高崎線に乗って、よく都心の動物園や水族館に訪れています。



## other voices

- 雪がほぼ降らないので快適です。水害などといった災害もほとんどないので安全です。
- 給食がおいしいと子どもが喜んでいます。
- 地域の人もやさしいと思います。
- 駐車場がどこも広いので車が停めやすいです。
- 子育てファミリー向けの給付金があります。また不妊治療費の補助があるので、若い人は助かると思います。
- 電車、車ともにあまり混雑がなく、会社まで快適に通勤ができています。
- 大型の買い物施設が集中しているため、買い物がしやすい。だいたいのお店は駐車場が無料なのもポイント。
- コミュニティバスの「くるりん」の便が多いので便利です。近場であれば1回100円という料金の安さも嬉しい。
- 都内の家賃と比べて同じ金額を払ったとしても、もっと広い部屋に住めるので良い。

# Fukaya Map

▶便利スポットが身近に揃う

## Facility list [施設一覧]

- 深谷市役所 C-2
- 深谷市保健センター D-2
- 母子健康包括支援センター D-2
- 深谷公民館 C-2
- キララ上柴 (上柴公民館) D-3
- 花園文化会館アドニス B-4
- 道の駅おかべ B-2
- 道の駅かわもと D-4
- 道の駅はなぞの B-5
- 深谷グリーンパーク アクアパラダイスパティオ B-3
- 仙元山公園 C-3
- 上柴中央公園 D-3
- スマイルパーク C-2
- 川本サングリーンパーク C-5
- 埼玉県農林公園 D-5
- ぶかや緑の王国 B-4



**PUBLIC HALL**

**深谷公民館**  
●ぶかやこうみんかん

体育館、多目的ホール、調理室、陶芸室などを備えた地域コミュニティの拠点。  
市内には、同じような公民館が12カ所ある。

☎048-571-0506  
🕒9:00~22:00 🗓年末年始  
📍深谷市仲町20-2

**PUBLIC HALL**

**キララ上柴**  
●キララかみしば

アリオ深谷3階に併設された行政サービスセンター、上柴公民館、Lフォルテ、図書館からなる複合施設。行政サービスセンターでは、住民票などの各種証明を発行している。

☎048-572-5770 📍施設により異なる(証明発行は9:00~17:00)  
📍深谷市上柴町西4-2-14

**SHOP**

**道の駅おかべ**  
●みちのえきおかべ

新鮮な野菜はもちろん、深谷の地酒も多数取り扱っている。また、200種類以上揃う地元特産の漬物もおすすめ。2021年3月にはレストハウスがオープン。

☎048-585-5001 🕒8:00~19:00 (直売所は8:30~19:00) 🗓年末年始  
📍深谷市岡688-1

**SHOP**

**道の駅かわもと**  
●みちのえきかわもと

新鮮な野菜を取り揃えた「農産物直売所」と地元野菜を使った食事を提供する「物産館」を併設し、地元の人々の憩いの場となっている。

☎048-583-3369  
🕒9:00~17:00 🗓無休  
📍深谷市長在家1279-2

**SHOP**

**道の駅はなぞの**  
●みちのえきはなぞの

地元深谷の人たちと共同開発した商品や道の駅はなぞの限定商品、農畜産物の加工品などが並び「ふかやセレクト」が人気。

☎048-584-5225  
🕒8:00~19:00 (ふっかちゃんミュージアムは10:00~18:00) 🗓無休  
📍深谷市小前田458-1

**PARK**

**仙元山公園**  
●せんげんやまこうえん

園内のわんぱくランドは、変わり種自転車や日本有数の距離を誇るバッテリーカーを低料金で遊べる屋外遊園地。陸上競技場、野球場なども併設。

☎048-572-3000 🕒9:00~17:00(冬季~16:00 夏季~18:00) 🗓年末年始  
📍深谷市上野台2565

**PARK**

**埼玉県農林公園**  
●さいたまけんのうりんこうえん

農産物の収穫体験や木工教室などの体験型の学習事業を通じて、地産地消や食育・木育の推進、県産木材の利用促進を図っている。

☎048-583-2301  
🕒9:00~16:30 🗓年末年始  
📍深谷市本田5768-1

**PICK UP**

**2024年新1万円札の顔**  
2021年 NHK 大河ドラマ『青天を衝け』主人公 渋沢栄一の 深谷市ふるさと

「近代日本経済の父」といわれる渋沢栄一は、天保11(1840)年に現在の深谷市の血洗島の農家の家に生まれました。27歳の時、徳川慶喜の弟、徳川昭武に随行し、パリ万国博覧会をはじめヨーロッパを視察すると、欧州諸国の進んだ思想、文化、社会に大きな感銘を受け、後に第一国立銀行をはじめ、約500もの企業の設立・運営に関与しました。また約600もの社会公共事業、福祉・教育機関の支援と民間外交にも熱心に取り組み、数々の功績を残しています。このような顕著な業績から、深谷市が誇る偉人渋沢栄一は、

2021年大河ドラマの主人公に、そして2024年に発行予定の新1万円札の顔に決定したのです。

**旧渋沢邸「中の家」**  
●きゅうしほさわてい「なかんち」 MAP C-1

渋沢家の住宅として使われた屋敷。明治28(1895)年に建てられた主屋では、栄一が滞在した部屋などが見学できる。

☎048-587-1100 (渋沢栄一記念館) 🕒9:00~17:00(入館は16:30まで)  
🗓年末年始 📍深谷市血洗島247-1

**渋沢栄一記念館**  
●しほさわえいいちきねんかん MAP C-1

平成7(1995)年11月11日(栄一の祥月命日)に開館した記念館。館内の渋沢栄一資料室には、栄一の遺墨や写真展示などのほか、本人の肉声が聞ける展示などもある。

☎048-587-1100 🕒9:00~17:00 🗓年末年始 📍深谷市下手計1204  
事前予約制 HPまたはお電話にてご予約ください。

**PARK**

**ふかや緑の王国**  
●ぶかやみどりのおうこく

「市民がつくり市民が育てる市民の森」梅や楓の銘木各種や庭木の見本種も多く、サスティナブルガーデンやフローラガーデンなど、新しい庭園も充実。梅まつり、森の音楽祭などの季節ごとのイベントも開催。

☎048-551-5551  
🕒4月~9月 9:00~18:00 / 10月~3月 9:00~17:00 🗓年末年始  
📍深谷市榎引24-2(花植木センター隣)

**PARK**

**深谷グリーンパーク アクアパラダイスパティオ** (通称パティオ)

●ぶかやグリーンパーク アクアパラダイスパティオ

地中海沿岸のリゾート地をイメージした北関東最大級の全天候型屋内レジャーホール。プール、ヨガなどフロアレッスンも各種行っている。

☎048-574-5000  
🕒10:00~21:00 🗓火曜日  
📍深谷市榎合763

移住定住に関する  
情報発信サイトのご案内



深谷市魅力発信  
ポータルサイト

深谷の「暮らす」に関する  
魅力の情報発信を行っています。

<https://www.fukkachan.com/>



◎発行／深谷市 ◎発行年月日／令和3年3月  
◎企画・編集／協働推進課 ◎制作 (株)昭文社

## 深谷市役所

〒366-8501 埼玉県深谷市仲町11番1号 電話：048-571-1211 (代表)

※本誌に掲載している情報は令和2年12月現在のものです。 ※許可なく転載、複製することを禁じます。

これからも発展するまち ふかや

## ヒト・モノ・コトが交流・連携する賑わいの拠点 「花園IC拠点整備プロジェクト」推進中！

観光やアクティビティを求め多くのかたが利用する花園IC周辺に、2022年、野菜と農業のテーマパーク「深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム」と「(仮称) ふかや花園プレミアム・アウトレット」がオープン予定です。  
ますます発展する深谷市にご期待ください！



イメージ

### 花園IC拠点整備プロジェクトとは

深谷市では、花園インターチェンジの近接地に、新たな観光拠点を設置し、市外・県外から人を呼び込み、農業と観光の振興に寄与することを目的として花園IC拠点整備プロジェクトを推進しています。  
本事業により、税などの増収による自主財源の確保や雇用の創出により地域産業の活性化を図ります。